

Q4

狂犬病ワクチンを接種すると、麻痺などの強い副反応があると聞きましたが、大丈夫でしょうか。

A

従来のワクチンは動物の脳を原料としてウイルスを培養し、ワクチンを製造していたため脳由来の神経組織成分の混入で麻痺や死亡などの強い副反応が発症する場合があります。しかし、昭和55年(1980)以降は脳を原料としない組織培養ワクチンが開発されたので、これらの副反応を回避できるようになりました。現在は一過性の発熱と局所の反応が知られています。そのため咬傷後の発症予防だけでなく予防的にも使用されています。